

患者のQOL向上
のために！



何のための
チーム医療？

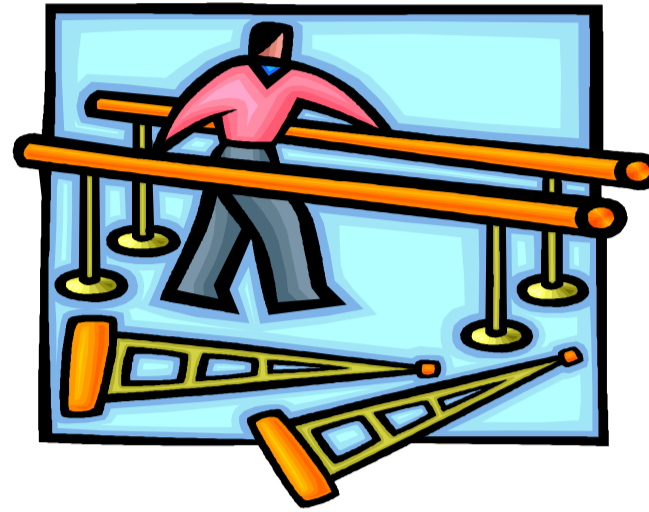


☆患者さんが帰宅するまで、段階が変わっても様々な業種の人々が関わっている。



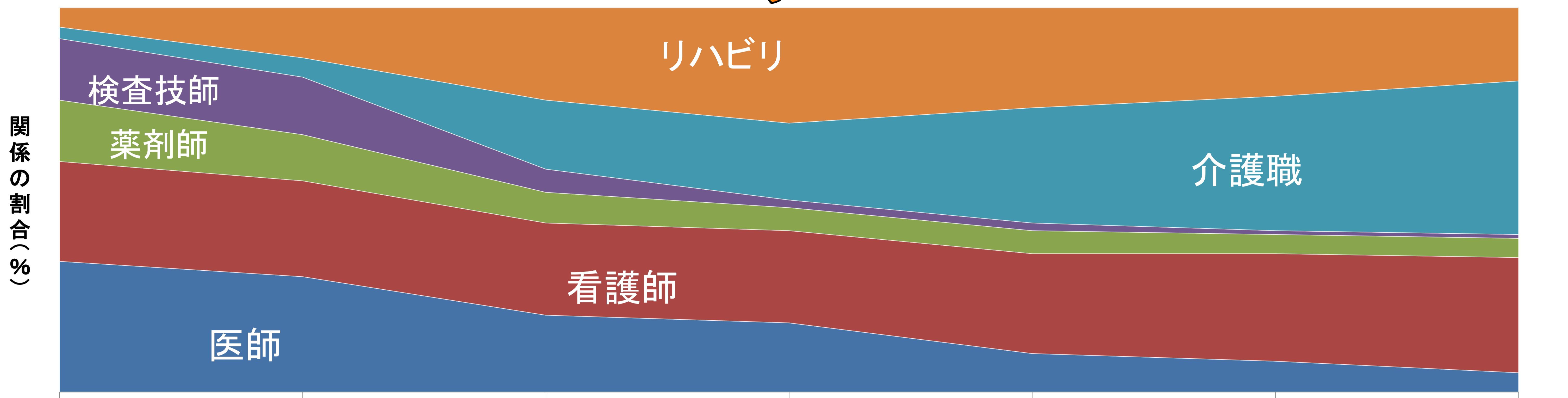
大学病院
急性期病棟

など



回復期病棟
老人介護保険施設
医療福祉施設

など



急性期

回復期

在宅

「救命のための医療」
スペシャリストによる分業

「家庭復帰のための医療」
職種にとらわれない柔軟な対応

「健康維持のための医療」
個別性に応じた密着型ケア

現状	回復期	在宅
<ul style="list-style-type: none"> 検査部では相互確認を行っていた。 看護師の業務が多い。 薬剤部は業務細分化が行われていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 連携がうまくできていた。 重症障害児のための施設では、それぞれの患者の症状にあわせた総合的なケアが行われていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 十人十色の訪問看護が行われていた。 家族の協力が不可欠。
<p>問題点と解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> 人手不足 看護師の負担は大きい。 コミュニケーション不足 医師との意思疎通が取りにくい <p>解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> 他業種との分業 職場復帰しやすい環境作り 電子化: 電子カルテや電子端末の導入で情報の共有 対面化: 意識の改善 	<ul style="list-style-type: none"> 保険制度の問題 保険が細分化・複雑化され、利用者には分かりにくい。 介護職の待遇改善 重労働で低賃金。 <p>これらは政治的な要素が大きい。 この問題に対しての世論を喚起させることで解決の糸口を。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 家族の負担が大きい コンビニ受診の問題 <p>解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> サービスの充実 制度の拡充 住民のモラル向上→啓蒙活動、講演会、学校教育

医学生としてチーム医療を推進するために...

- 将来医師になったときのためにコミュニケーション能力を磨く。
- 看護、介護、検査、歯科など、様々な分野の人達と交流する。